

# よりよい学校づくりのために(アンケート結果)

平成27年度 牟岐中学校

より良い学校づくりを目指して、1年間の牟岐中学校の成果と課題を明らかにするために、アンケート方式で学校評価を実施しました。その結果がまとまりましたのでご報告いたします。保護者の皆様にはご協力いただき、誠にありがとうございました。

## 1 調査の概要

### (1)回答者

生徒 92名(1年－26名 2年－32名 3年－34名)

保護者 94名

教職員 17名

### (2)回答方式

生徒、保護者、教職員でほぼ同じ内容の質問項目になるようにアンケートを作成しました。それぞれの質問項目に対して4段階で回答していただき、「そう思う」「ほぼそう思う」を肯定的意見、「あまりそう思わない」「思わない」を否定的意見として、調査結果をグラフ化しました。

(肯定的意見)	A:そう思う	B:ほぼそう思う
(否定的意見)	C:あまり思わない	D:思わない

(3)調査結果につきましては、教職員全員に配布し、校内で検討を重ね、来年度に生かしていきたいと考えています。また、中学校のホームページ上でも配信して、保護者や地域の方々からご意見・ご要望をいただき、学校改善につなげていきたいと考えています。



(市宇ヶ丘学園校舎)

(生徒・自分・子どもについて)

凡例

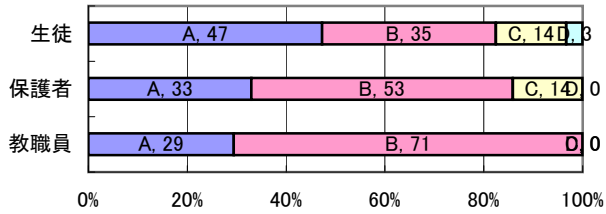
A: そう思う

B: ほぼそう思う

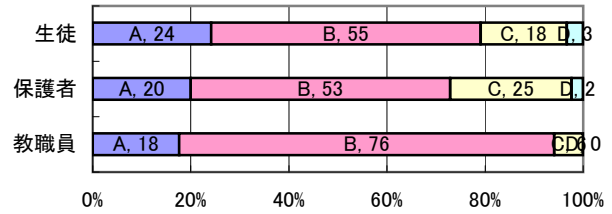
C: あまり思わない

D: 思わない

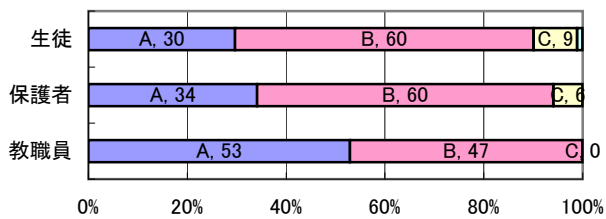
1-①学校へ行くのが楽しい



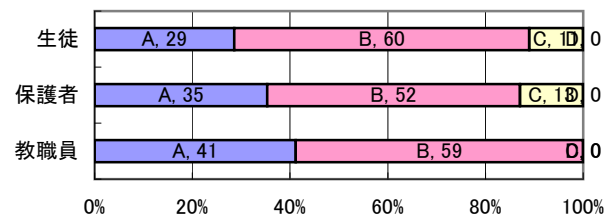
1-②目標を持って生活を送っている



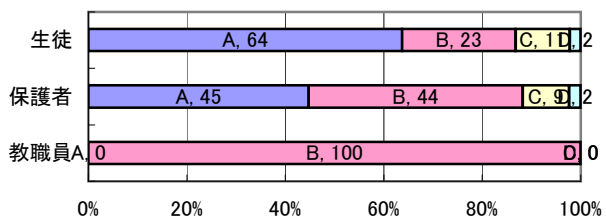
1-③授業に真面目に取り組んでいる



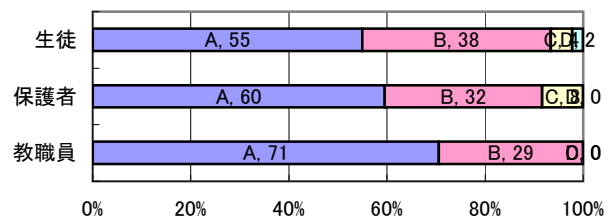
1-④あいさつ・掃除がきちんとできている



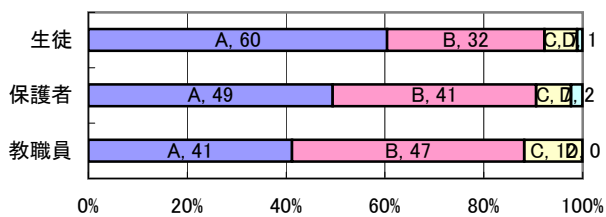
1-⑤悩みや困ったことを、気軽に相談できる



1-⑥部活動に意欲的に取り組んでいる



1-⑦牟岐中学生でよかったと思う



(学校全体について)

凡例

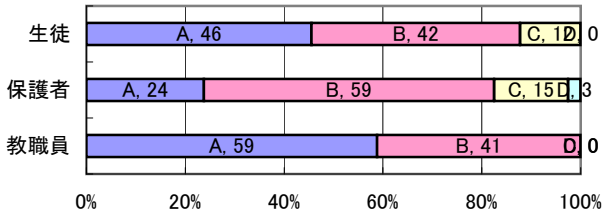
A: そう思う

B: ほぼそう思う

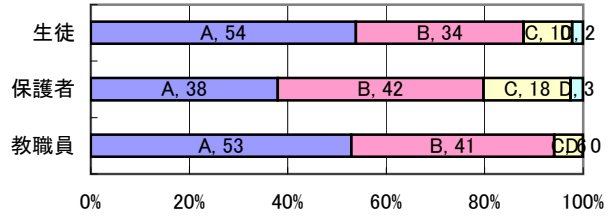
C: あまり思わない

D: 思わない

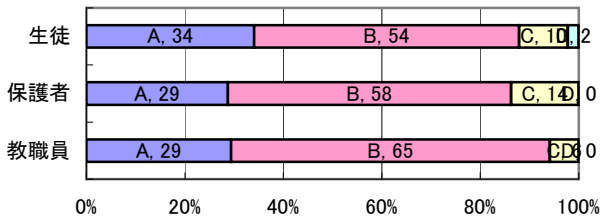
2-①牟岐中学校は魅力的である



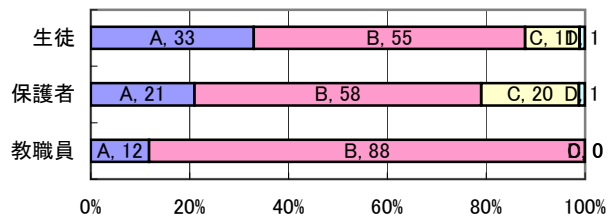
2-②地域や学校であいさつができています



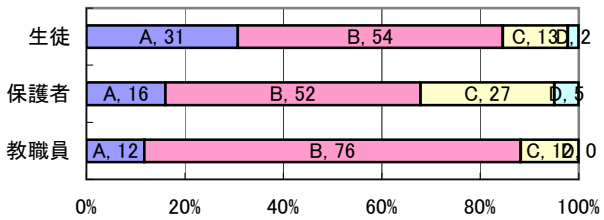
2-③時間や交通ルール等のきまりを守っている



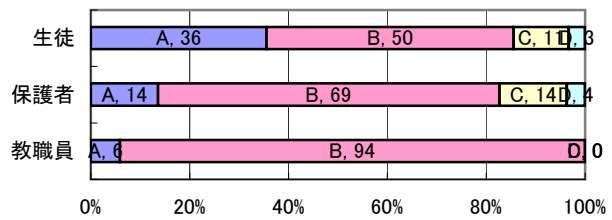
2-④お互いの気持ちを大切にしている



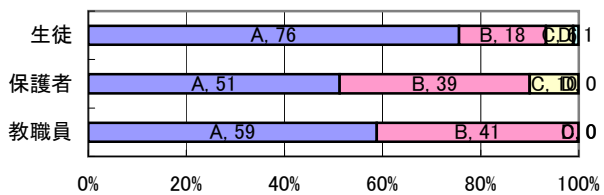
2-⑤いじめを許さない心が育っている



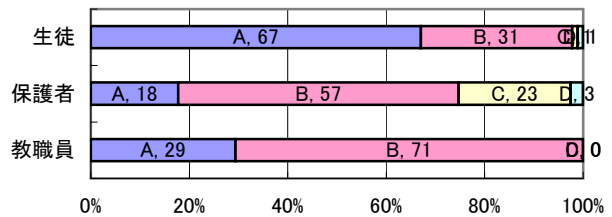
2-⑥わかりやすい授業が多い



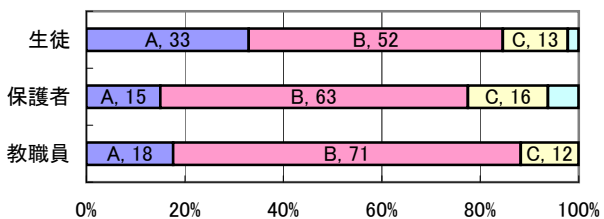
2-⑦先生は、部活動を熱心に指導してくれる(している)



2-⑧学校と保護者・家庭の連絡がとれている



2-⑨保・小・中一貫教育が、教育的効果をあげている



▼ 肯定的な回答数の割合(%) (A: そう思う+B: ほぼそう思う)

- 1-①学校へ行くのが楽しい
- 1-②目標を持って学校生活を送っている
- 1-③授業に真面目に取り組んでいる
- 1-④あいさつ・掃除がきちんとできている
- 1-⑤悩みや困ったことを、気軽に友達に相談できる
- 1-⑥部活動に意欲的に取り組んでいる
- 1-⑦牟岐中学生でよかったと思う

生徒			保護者			教職員		
25年度	昨年度	本年度	25年度	昨年度	本年度	25年度	昨年度	本年度
88	91	82	85	90	86	100	100	100
61	74	79	80	83	73	88	83	94
70	75	90	89	88	94	100	100	100
84	89	89	90	93	87	100	100	100
	81	87		84	88		77	100
82	82	93	89	92	92	100	100	100
88	96	92	95	92	91	100	100	88
25年度	昨年度	本年度	25年度	昨年度	本年度	25年度	昨年度	本年度
82	90	88	84	84	83	100	100	100
92	92	88	88	84	80	89	100	94
82	89	88	89	86	86	94	100	94
83	82	88	78	80	79	88	100	100
73	82	85	71	77	68	89	89	88
73	79	86	83	83	83	100	100	100
85	93	93	87	92	90	100	100	100
92	92	98	81	77	75	100	100	100
	87	85		65	78		59	88

- 2-①牟岐中学校は、魅力的である
- 2-②地域や学校であいさつができている
- 2-③時間や交通ルール等のきまりを守っている
- 2-④お互いの気持ちを大切にしている
- 2-⑤いじめを許さない心が育っている
- 2-⑥わかりやすい授業が多い
- 2-⑦先生は、部活動を熱心に指導してくれる
- 2-⑧学校と保護者・家庭の連絡がとれている
- 2-⑨保・小・中一貫教育が教育的効果をあげている

※ 太字 は、過去3年間で最も高い  
 ※ ■ は、過去3年間で最も低い

- 1-①学校へ行くのが楽しい
- 1-②目標を持って学校生活を送っている
- 1-③授業に真面目に取り組んでいる
- 1-④あいさつ・掃除がきちんとできている
- 1-⑤悩みや困ったことを、気軽に友達に相談できる
- 1-⑥部活動に意欲的に取り組んでいる
- 1-⑦牟岐中学生でよかったと思う

生徒			保護者			教職員		
25年度	昨年度	本年度	25年度	昨年度	本年度	25年度	昨年度	本年度
88	91	82	85	90	86	100	100	100
61	74	79	80	83	73	88	83	94
70	75	90	89	88	94	100	100	100
84	89	89	90	93	87	100	100	100
	81	87		84	88		77	100
82	82	93	89	92	92	100	100	100
88	96	92	95	92	91	100	100	88
25年度	昨年度	本年度	25年度	昨年度	本年度	25年度	昨年度	本年度
82	90	88	84	84	83	100	100	100
92	92	88	88	84	80	89	100	94
82	89	88	89	86	86	94	100	94
83	82	88	78	80	79	88	100	100
73	82	85	71	77	68	89	89	88
73	79	86	83	83	83	100	100	100
85	93	93	87	92	90	100	100	100
92	92	98	81	77	75	100	100	100
	87	85		65	78		59	88

- 2-①牟岐中学校は、魅力的である
- 2-②地域や学校であいさつができている
- 2-③時間や交通ルール等のきまりを守っている
- 2-④お互いの気持ちを大切にしている
- 2-⑤いじめを許さない心が育っている
- 2-⑥わかりやすい授業が多い
- 2-⑦先生は、部活動を熱心に指導してくれる
- 2-⑧学校と保護者・家庭の連絡がとれている
- 2-⑨保・小・中一貫教育が教育的効果をあげている

※ 太字 は、昨年度より5ポイント増加している。  
 ※ ■ は、昨年度より5ポイント低下している。

## 1 調査結果

### (1)《生徒・自分・こどもについて》

#### 【1-①】学校へ行くのが楽しい。

教職員の100%、生徒の91%、保護者の90%が「生徒が学校へ行くのが楽しい」と回答しています。昨年度に比べ、生徒や保護者の割合が増えています。生徒の生活環境が大きく変わり、いじめや中1ギャップなどの対応が教育現場に求められています。学校・家庭・地域が連携・協力しながら、生徒一人ひとりが楽しく充実した学校生活を送れるような取り組みを推進していきたいと考えています。

#### 【1-②】目標を持って学校生活を送っている。

「生徒が、目標を持って学校生活を送っている」では、教職員の83%、生徒の74%、保護者の83%が肯定的な回答を寄せています。昨年度に比べ生徒の肯定的な回答が、まだ数字的には低いですが13ポイント向上しています。多様化する社会の中で、たくましく生きる生徒を育てることが教育目標です。職場体験など生徒の発達段階に応じたキャリア教育を推進し、自主的・意欲的に学校生活を送れる生徒の育成に努めていきます。

#### 【1-③】授業に真面目に取り組んでいる。

教職員の100%、生徒の75%、保護者の88%が「生徒は真面目に授業に取り組んでいる」と回答しています。生徒が目を輝かせ真剣に授業に取り組み、教師が個に応じたわかりやすい授業を展開することが重要です。教師の授業力の向上やTT学習などの学習形態の創意工夫を、学校全体で取り組んでいきます。

#### 【1-④】あいさつ・掃除がきちんとできている。

「生徒は、あいさつ・掃除がきちんとできている」では、教職員は100%、生徒は89%、保護者は93%でした。牟岐中学校では、「あいさつができ、礼儀正しい生徒」を、めざす生徒像に掲げています。日々の教育活動の中で、清掃も含め自ら進んで、あたりまえのことがあたりまえに行動できる生徒の育成を目指して、指導を重ねていきたいと考えています。

#### 【1-⑤】悩みや困ったことを、気軽に友達に相談している。

「悩みや困ったことを、気軽に友達に相談している」の肯定的な回答は、教職員の77%、生徒の81%、保護者の84%でした。中学生は多感な時期で、多くの悩み不安を抱えています。スマホやラインなどの普及により、生徒の交友関係も多様化し、また弊害もでています。今後も生徒の仲間意識を育て、何でも相談し支え合える仲間意識を育てることが大切だと考えます。さらに家庭や地域との情報交換に努め、生徒との日常の会話を大切にしたい相談体制の充実を図ることが大きな課題と考えます。

#### 【1-⑥】部活動に意欲的に取り組んでいる。

「部活動に意欲的に取り組んでいる」については、教職員が100%、生徒が82%、保護者が92%とおおむね肯定的な回答でした。中学校生活において部活動は、生徒の心身の発達に大きなウェイトを占めています。各部とも日々の早朝練習や放課後の練習を意欲的に取り組んでいます。少子化が進むなか、教師と生徒が目標に向かって、部活動の充実を努めることが学校の活性化につながると考えています。

#### 【1-⑦】牟岐中学生でよかった(素晴らしい)と思う。

「牟岐中学生でよかった(素晴らしい)と思う」について、教職員が100%、生徒が96%、保護者が92%と肯定的な回答が多数でした。特に生徒は、昨年度に比べ割合が8ポイント高くなっています。市宇ヶ丘学園となって2年過ぎました。生徒達は保・小・中の交流を通して、中学生としてのリーダーシップを発揮しています。これからも、ふるさとや母校を誇りに思い、将来の地域を担う生徒の育成に努めていきます。

### (2)《学校全体について》

#### 【2-①】牟岐中学校は、魅力的な学校である。

「牟岐中学校は、魅力的な学校である」の肯定的な回答は、教職員が100%、生徒が90%、保護者が84%という結果でした。保・小・中一貫教育も2年が過ぎ、「夢と志を持ったたくましいこどもの育成」を教育目標に、試行錯誤しながら、さまざまな教育活動を展開しています。これからも子どもの実態や地域の特色を活かした教育活動を推進し、魅力的な学校づくりを目指していきます。

**【2-②】牟岐中学生は、地域や学校であいさつができています。**

「牟岐中学生は、地域や学校であいさつができています」については、教職員100%、生徒92%、保護者84%が肯定的な回答でした。牟岐中学校では、あいさつの励行を重要な柱とし、生徒会が中心となって毎朝のあいさつ運動を行っています。あいさつの意義と重要性も浸透し、あいさつの輪が広がっています。しかし、学校を離れて地域や家庭では、あいさつができていないという指摘もあります。これからの大きな課題だと考えます。

**【2-③】牟岐中学生は、時間や交通ルール等のきまりを守っている。**

「牟岐中学生は、時間や交通ルール等のきまりを守っている」については、教職員の100%、生徒の89%、保護者の86%が肯定的な回答でした。昨年度に比べると生徒の割合が、7ポイント高くなっています。社会全体の規範意識や公共心の低下が叫ばれるなか、学校教育でも道徳の教科化が検討されています。生徒が安全・安心な生活が送れるため、法やきまりを遵守させることを、家庭・地域と連携しながら推進していきます。

**【2-④】牟岐中生は、お互いの気持ちを大切にしている。**

「牟岐中生は、お互いの気持ちを大切にしている」と回答した人は教職員が100%、生徒が82%、保護者が80%でした。SNSなど情報化が進み、子ども達をとりまく生活環境が大きく変わってきています。インターネットによる他人の中傷や誹謗など新たな社会問題となっています。この現状を深刻にとらえ、子どものコミュニケーション形成能力を育てることが重要です。自分の思いや意見を上手に伝えたり、相手の気持ちを理解することを学校全体で取り組んでいきます。

**【2-⑤】牟岐中学生は、いじめを許さない心が育っている。**

「牟岐中学生は、いじめを許さない心が育っている」については、教職員の89%、生徒の82%、保護者の77%が肯定的な回答でした。昨年度と比べて生徒の割合が9ポイント高くなっています。いじめによる少年犯罪が、毎日のようにマスコミで取り上げられています。日々の教育実践を通して、生徒に「命の大切さ」や「相手の人権」を尊重することを育成し、いじめのない学校づくりに努めていきます。

**【2-⑥】わかりやすい授業が多い。(展開されている。)**

「わかりやすい授業が多い(展開されている)」については、教職員の100%、生徒の79%、保護者の83%が肯定的な回答でした。まだ教職員と生徒・保護者との認識に差があり、これからの教育課題と考えます。今年も小学校と連携しながら、互いに授業公開し研修に努めてきました。またオープンスクールも実施し、保護者や地域の人々の参加を推奨しています。個に応じたわかりやすい授業に向けて、生徒や保護者の建設的な意見を聞きながら、授業改善を図っていききたいと思っています。

**【2-⑦】教員は、部活動を熱心に指導してくれる。(している。)**

「教員は、部活動を熱心に指導してくれる(している)」については、肯定的な回答が教職員が100%、生徒が93%、保護者の92%という割合でした。昨年度と比べてもポイントも高くなり、部活動の充実が図られているように思えます。日々、生徒と共に時間を共有し、同じ目的に向かって精進する部活の教育的意義は大きいと思います。教員一人ひとりが愛情を持って指導し、生徒や保護者と信頼関係を築きながら、部活動の活性化を推進していきます。

**【2-⑧】学校と保護者・地域の連携がとれている。**

「学校と保護者・地域の連携がとれている」では、教職員が100%、生徒が92%、保護者が77%の肯定的な回答でした。教職員と保護者が23ポイントの差が見られ、今後の課題として検討する必要があります。PTA活動や「むぎっ子サポーター」をはじめ、多くの保護者や地域の人々の協力をいただいています。教育活動の情報収集・提供に努めて、それぞれが課題を共有し、地域ぐるみ教育の推進に努めていききたいと思います。

**【2-⑨】保・小・中一貫教育が教育的効果をあげている。**

「保・小・中一貫教育が教育効果をあげている」については、肯定的な回答が教職員が59%、生徒が87%、保護者の65%という割合でした。まだ、実際に2年間では教育効果は「わからない」という意見もあり、今後の継続的・実効的な取り組みが必要です。多くの意見のなかで「保・小・中一貫教育となって、みんなで協力してがんばっている」「中学生が小学生の手をつないで登校する姿に感動します」など温かい意見も多く見られました。徐々に効果はあがっていると思えます。さらに連携しながら前